

番号	8- 2	申請者	作業療法士 尾形 純子
<p>【審査申請課題】 解離性同一症の疑いがある対象者への介入ー心理的安全性の視点からー</p>			
<p>【審査課題の概要】 医療観察法鑑定入院時診断で解離性同一症の疑いがある対象者の治療や処遇の方針検討が難航しており、心理的安全性に着目すると①多職種チーム内での心理的安全性（治療ターゲットの不透明さに対し、スタッフが異論を率直に共有し、治療の方向性を構築していく）、②対象者にとっての心理的安全性（他人格の否定ではなく、なぜそのような防衛機制が必要だったのかを安心して表出できる環境を整えること）が課題となっている。医療観察法入院処遇において、曖昧な診断や課題に直面した際に、チームと対象者の双方に心理的安全性を担保し、介入のポイントを定めるべきか、助言をもらうために事例検討として発表を行う。</p>			
審査結果	承認	2026年6月15日	